

八潮市議会議員 あさだ和宏(44歳)無所属(刷新の会)



継続こそ・力なり!!
子育て世代の声を市政へ!!

未来の八潮・子どものために… 和宏のほっとかない!! NEWS vol.48<9月議会報告>

編集・発行

あさだ和宏を育てる会
会長 落合 利治
編集長 中井 欣也

〒340-0821 八潮市伊勢野306
FAX 048(996)4361

●発行日 平成24年10月●

討議資料

子供に
ツケを
まわさない!



プロフィール

1968年 3月28日
八潮市に生まれる(現在44歳)
市立大瀬小(八小)大原中(二中)を卒業
私立成立学園(商業科)を卒業
専修大学 法学部法律学科卒業
(40歳を機に大学へ入学、働きながら
4年間通学し、2012年・卒業)
01年 9月市議選に立候補
(最年少候補(当時)33歳)
1229票12位当選
05年 9月
2度目の市議選に立候補(37歳)
1415票9位当選
09年 9月
3度目の市議選に立候補(41歳)
1733票3位当選
現在、3期目(刷新の会・代表)

所属団体

地方政治改革ネット 会員
青年地方議員の会 会員

ホームページ

あさだ和宏

検索

平成24年八潮市議会・9月議会が開催されました。

今年も記録的な暑さが続いた夏がやっと終わり、季節は「秋本番」を迎えています
が、皆さん、お変わりありませんか。私もおかげさまで、日々、元気に活動をしてい
ます。

秋といえば、「読書」「食欲」……。また、春・夏と季節が過ぎ、秋を迎えて
様々なものが収穫を迎える季節でもあります。

早いもので、今年も残すところあと3ヶ月足らずとなりました。私自身もこの一年
で「何を収穫したのか、出来たのか・・・」を考え、一日一日、時間を大切に過ぎて
いきたいと思えます。

さて、9月3日～21日までの間、9月定例会市議会が開催され、上程された全ての
議案が原案通り可決・承認されました。この9月議会では、平成23年度決算を認定
する議案が上程されました。私も所属委員会審査において、各事業を実施しての成
果、そして課題等を質問し、その結果を平成25年度・予算編成に、どう活かしてい
くかを主眼に置き、質問をさせていただきました。

民間企業では当たり前となっている「P・D・C・A・サイクル」という考え方
ですが、行政の世界では、積極的に取り組んでいる自治体もあれば、形式だけ導入して
いる自治体があるなど温度差がかなりあると感じています。

本市の自治体経営は、今後も、厳しい状況が続くことが予想されており、一層の経
営感覚、コスト意識を高めていく必要があると考えます。

一議員として出来ることの限度はありますが、今後も、自治体としての経営感覚が
更に向上出来るように、努力をしてみたいと思いますので、市民の皆様のご支援、ご協力を
賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

八潮市議会議員 あさだ和宏

～議会報告会・茶話会、開催のお知らせ～

- 日 時：11月10日(土曜日)午後2時～4時まで。
- 内 容：9月議会の報告・参加者の皆様との懇談会
- 場 所：伊勢野公民館
- 参加費：300円(お茶・茶菓子代、資料代)

【問合せ先 090-3402-6388 朝田】 *非通知設定では繋がりません。



防災対策について

一般質問

Q 災害が発生した際に、様々な災害情報
を迅速かつ的確に収集・伝達・処理するこ
とは、災害発生後の初動体制に大きく影響
が出ると思います。このことは、先の東日本
大震災でも明らかになりました。そこで、
本市でも、指定避難所となっている公共施
設への「PHS電話」「衛星携帯電話」の整
備を進め、災害発生時の情報網の確保・充
実を講じる必要があると考えますが、市の
考えをお聞かせください。

A 本市の災害発生時における通信手段
については、八潮市地域防災計画により、電
話回線を災害時優先電話として整備する
こととしており、有線通信の使用が不可
となつた場合に備えて各避難所に無線通信
設備を整備することになっております。しか
し、現在、避難所に指定されている施設に
無線通信設備が整備されていないことか
ら災害発生時における避難所を開設する
場合には、担当職員が現地に向かう際に移
動系防災行政無線を持参し、通信手段を
確保するように対応する。議員質問の件に
ついては、災害発生時に有効であると考え
ています。導入費用、運用経費の問題など
の課題もあり、今後、どのような通信手段
を確保すれば有効であるか、調査研究をし
たい。

再質問

Q 現在、市では、どのような通信手段を
配備しているのか？

A 担当課では、車載式移動系防災行政
無線が25台、携帯型防災行政無線は1
3台を準備しており、災害発生時における
避難所を開設する際には、担当職員が現地
に向かう際に、持参をする。

Q 本来なら、各避難所となつて
いる施設に災害発生時に対応した通信機器の設置
が大切だと思うが今後の具体的な整備計
画については？

A 通信網は、先の震災時の状況を考慮す
ると、一重・三重のバックアップ体制を取る
ことが重要だと考えており、今後の防災計
画の見直しに合わせて検討していきたい。

和宏の考え・意見

現在、本市では、各施設には、緊急時の通
信装置(無線等)が整備されていません。
これでは大地震等の災害発生時、迅速な
対応が出来ず、通信網を確保することが
難しいと考えます。今後の整備計画につ
いて「防災計画の見直しに合わせて…」と
の回答でしたが、計画が策定されるのは
まだ一年も先の話です。防災計画の見直し
に合わせるのではなく、今出来る対応を
早急に実施するように要望しました。
(ちなみに、草加市では、今回の補正予算
で、市内全ての公共施設に、優先機能付き
携帯電話を配備するための予算を計上し
ています)

教育環境の充実について

Q 来年度4月から、市内小中学校通学区
域の一部が見直しされ、新たな学区に変更
することが決定しました。そこで対象とな
る潮止中学校の整備(ハード・ソフト面)が
必要と考えますが、今後、教育委員会とし
ての整備方針について考えをお聞かせしま
す。

A 現在、潮止中学校の、大規模改修工事
実施設計の業務委託を行っている最中であ
り、今後の生徒数増加に伴うクラス増加に
対応するため、教室の改修等、学校側と協
議を行い設計、積算を進めていく。生徒一人
一人が安全に充実した中学校生活を送れ
るよう、学校と連携を密にしながらいよ
い教育の推進に取り組んでいく。

再質問

Q 来年度から予定されている通学区
変更によって、今後、潮止中学校の生徒数の
推移(予想)はどうなるのか？

- A** 平成25年度：245人
- 26年度：355人
- 27年度：453人
- 28年度：467人
- 29年度：472人

Q 今後の潮止中学校の生徒数の増加(予
想)を考慮した大規模改修が必要と考える
が、

A 普通教室の整備、確保を含め、しっか
り対応をしていきたい。
Q 現在、小規模校のために、「講師」とい
う位置づけの先生がいる状況だが、今後の
教員の確保についてどう考えているか。
A 生徒数が増加すれば、それに見合った
教員数の増が見込まれるので、今のよう
な状況は解消される。教員の確保のついで
も教育委員会として対応していく。

Q 通学指定校の見直しに伴う指定校の
変更について、教育委員会の対応について
の考えをお聞かせください。
A 通学区域審議会の答申の付帯意見と
して「通学区の見直しに伴う指定校変更
について柔軟に対応してほしい」という意
見を尊重し、「保護者を含めた関係者と十分
話し合いをし、柔軟に対応していきたい」。

Q 現在、潮止中学校西側に、学校建設予
定地があるが、今後は、この地域での小中一
貫校の建設も視野に入れていく時期だと
私は考えますが、教育長の考えは？
A 駅中心とした学校では児童生徒数が
増加傾向にあるが、これから先、いつまでも
児童生徒数が増加し続けることはありえ
ない。であるならば、今の学校数・配置も再
考することも必要であり、それを踏まえ
て、今年度開催される学校教育審議会の中
で議論してもらおう予定。

和宏の考え・意見

主に、伊勢野と南川崎に在住し、来年、
中学一年生となる生徒を対象として学区
の変更が行われます。果たしてどれだけ
の生徒が学区を変更せずに潮止中学校へ
通学するのか心配をしています。現在、潮
止中学校の生徒数は少ない状況ですが、
学区変更に伴い数年で中規模校となりま
す。また、来年度には校舎・体育館の大規
模改修が実施される予定であり、ハード
面においても、より魅力ある学校になる
と私は確信をしています。

関係する保護者・生徒の
皆さんのご理解・ご協力
をお願いします。またご
不明や不安な点がござ
いましたら、遠慮なく私
にご相談下さい。



仮称八潮駅南口駅前公園の整備について

1.平成26年開園を目指して整備が進め
られている駅前公園についての整備方針が
示されましたが、下記の点について市の考
え方、予想される事業費についてお聞き
します。
Q ①公園開園までの総事業費はいくら
か
A 基本設計業務委託料、実施設計業務
委託料、土木工事請負費、建設工事請負
費、工事施工管理業務委託料として、約4
億7,705万円を見込んでいます。

Q ②公園開園後、予想される一年間の維
持費(管理費も含む)
A 八潮の顔となる駅前公園を常に良好
な状態で維持していくためには、相応の維
持管理費用を要すると考えています。今後、
経済性や効率性を配慮した
合理的な維持管理方法を検討していきま
い。(約1,000万円)

Q ③ミスト装置が予定されていますが、
予想されるその費用と年間の維持費につ
いて
A 土木工事費が約530万円、年間の維
持費は約40万円。

A ④公園の愛称の募集、市民からの協賛
(名入れタオル等)について
A 愛称の募集については、広く市民から
ご意見を参考にさせていただく必要がある
と思う。協賛の件は、どのような形で協賛
金をとり入れていくか、また展開方法等
について検討していきたい。

再質問

Q 今回、民間のコンサルタントに約70
0万円の予算で、基本計画・基本設計を依
頼し、現在の案が提示された訳だが、公園
に設置される予定の「丘」(中にトイレや休
憩所が入る)と同様な様式の公園を視察し
たのか
A 松伏町にある県営公園が同様な様式
があり、確認した。

Q 1.4hの面積の中で、幾つかのコンセプトに分けた公園となっております。一方、デザインに凝りすぎて、その後の維持管理に必要な以上の費用が生じると感じるが、この案を庁議で提示した際、意見等はどうかだったのか。

和宏の考え・意見

A 維持管理についての意見はあった。前回の「ほっとかないNEWS」でもこの件に関して取り上げましたが、その後、市民の方からメールや電話等、また会合等で直接お会いした際に多くのご意見をいただきました。私に寄せられた意見も多様な内容でしたが、「そんなにお金を掛ける必要があるのか」という声が比較的多く聞かれました。駅前という貴重な空間を活用し、公園を作るには、ある程度の費用が生じることは仕方ありません。しかし、今回予定されている公園デザインを見る限り、果たして「市民」利用者の声がどれだけ反映しているのかと思うと疑問に感じています。また、民間のコンサルタントなど専門家の意見も必要だと思いますが、最近、少し、コンサルタントに頼りすぎでは…と感じています。(他のケースも同様)

今回もお忙しい中、多くの支援者の皆様が傍聴にお越しをいただきました。また、友人の「齋藤・埼玉県議会議員」も、上里町からわざわざお越しいただきました。

※構成上、質問・答弁とも、一部文章を割愛している場合があります。正式な内容は、八潮市議会ホームページをご参照下さい。

◎今回の反省点：今回も議員の持ち時間「60分」をフル活用しましたが、いくつかの質問時間の時間配分を誤り、結果、最後は時間が足りなくなりました。次回も、もう少し、的を絞り質問をしたいと思えます。



「検証します!」 ～一般質問・その後はどうなったか～

私が、議会の一般質問で取り上げた問題・課題について、その後はどうなっているか検証します

その1

平成23年12月議会で質問した修学旅行の費用について今年度、早速、削減が図られました。

(学校関係者のご協力に感謝です)

潮止中学校 生徒一人当たり

平成23年度決算 64,682円 → 平成24年度決算 53,744円

※10,938円の削減

※ちなみに、生徒一人あたり約11,000円削減をすることが出来ましたが、修学旅行の行き先は従来と変更はなく、主に現地での交通手段等を再考した結果とのことです。

その2

平成24年6月議会で質問した、選挙ポスター費用について、今度の12月議会で議案として上程される予定です。

具体的には、選挙ポスターの公営費用限度額が、現行一人当たり「564,876円」→「454,005円」となる予定。

※一人あたり「110,871円」の経費が削減され、仮の25名市議会議員選挙に立候補した場合「2,771,775円」の削減効果が生じることになります。

※ちなみに、選挙公営費用は、すべて「公費」で賄われています。

◎請願書が採択されました

「南部地区区画整理事業区域の町名変更見直しに関する請願書」が本会議最終日、賛成多数で可決しました。これは、垢町会長、「垢」を守る会、そして約2,000筆の署名とともに今議会に提出されました。

(この件について、マスコミの関心は高く、当日は、数社の報道関係(テレビ局・新聞社)が議場に入りました)

議会では、所管の「建設・水道常任委員会」の委員長報告があり、その後私を含め2名の議員が賛成討論しました。その後、採決が行われ「賛成18・反対3」(議長は採決には入りません)の賛成多数で可決、採択されました。

審議をした委員会には、私たち会派「刷新の会」の所属議員がいないため、本会議にて私が賛成討論をおこないました。

討論の中で、まずは行政側の対応について「町名策定の経緯を見ると、確かに答申が出されるまでの過程においては、過去の区画整理事業の先例に従い、委員会の委員会構成が規則に定められ委員会が開催されました。この点については関係法規上、行政行為に瑕疵はないと判断しています」と確認をした後に、「町名策定委員会が示した新しい町名を全否定するつもりはないが、新しい町名を選定・策定する際に関係者、また隣接する町会関係者に対して、十分な説明が足りなかったのではないか」という事を中心に討論しました。

本会議にて請願は「採択」されましたが、請願には法的拘束力がありません。

この結果を受けて、市長を始め、執行部の今後の対応が注目されており、今後も注視していく必要があります。

これからの「まちづくり」は、行政主導的手法ではなく、その過程段階において、「いかに地域住民の声を集約するのか」「住民参画をどのように進めるか」という視点が重要であり、「町名を策定する」という大切な作業は、より慎重に進めることが必要だと私は考えます。

和宏の独り言… ～失敗と挫折～

皆さん、今回も最後までお読みいただき有難うございました。内容はいかがだったでしょうか。まだ至らない点多いと思いますので、お気づきの点等ございましたら遠慮なくご意見をお寄せいただければと思います。

さて、10月8日、私たち国民に勇気と元気を与えてくれた嬉しいニュースがありましたね。そうです、今年のノーベル医学生理学賞が、京都大学の山中伸弥教授に贈ると発表がありました(拍手!)

皮膚などの体細胞から、様々な細胞になりうる能力を持った「iPS細胞」を作り出すことに成功したことが評価されての受賞です。

さて、私自身、恥ずかしい話ですが、正直、山中教授のことは詳しく存じ上げておらず、当初は、さぞかし立派な経歴と順風な人生を過ごされた方だろうと思っていました。しかし、私の勝手な想像は見事に外れました。まさに「失敗と挫折」の連続の人生だったことが明らかになりました。

この事は多くの新聞やテレビ等で紹介され、今や大半の方は知っている事実ですので、紹介は省きますが、山中教授が数多くの「失敗と挫折」を経験し、それでも最後まで諦めず、継続し、努力し続けたことが、今の研究の成果に繋がったのではと感じています。

私も同様ですが、人間は失敗し挫折をしてしまうと、次の機会には、「また失敗してしまうのでは…」とネガティブな考え方・行動になりがちです。

また、現代社会の風潮も、「一度失敗をしてしまうと取り戻せない…」という流れが強くなっており、結果的に、「新しいことに挑戦してみよう!頑張ってみよう!」といったチャレンジ精神が薄れている人が年々多くなっているのではと私は感じています。

もちろん、景気等の影響もあり、今なお閉塞感が強い状況が続いていますので仕方がないことかな…と一定の理解をしていますが、私はこのような時代だからこそ、失敗や挫折を恐れずに、積極的に行動することも大切ではないかと考えます。そして、そのような社会を構築していくのは私たち大人の「役割り」であり、私たち世代も、次世代が希望を持てる社会を作り上げていく必要があると考えます。

自ら行動し、時には失敗をすることもあろうでしょう。しかし、自らの意思で行動した場合、結果的に失敗をした場合でも、必ずその経験が「その後の糧」に繋がると感じます。

私自身、今回、山中教授のノーベル賞・受賞という快挙に感銘するとともに、人間の生き方と、何事にも失敗を恐れずに挑戦することを再認識させていただいたと感じています。

P S. 山中教授の記者会見時、何度も「周りの皆さんのお陰で…」という言葉に、山中教授の「懐の深さ」を感じました。

「俺が、俺が…」ではなく、「おかげ、おかげ…」の「感謝の気持ち」を忘れてはいけませんね。

和宏



★編集後記★

～きんやのボヤキ～

「街並みの変化」

今回は、八潮駅が開業し、7年が経過した八潮市の「道路」が様変わりし、街並みが変わってきたことをお話ししたいと思います。

まず驚いたのが、浮花橋(浮塚から足立区の花畑に渡る橋)が開通してから綾瀬に向かう交通の便が良くなったことです。

私が故郷から、八潮市に来たときには、渋滞が激しく、足立区の神明町を抜けるのに30～40分かけて通りぬけたことを今でも覚えています。

それが、橋をかけて道路を整備すると苦にもなく通ることができ、こうも違うのかと思います。それにともない、古い建物は解体され、新しく整備された土地には新しい建物が立ち、刻々と街並みがきれいに変化しています。

折角、きれいになっていく八潮市の道街です。これらを整備・管理・維持しなければなりません。また、今後、人口の自然減を迎える時代を考慮することも重要であり、これからの「まちづくり」は、市長市役所・議員、プラス「市民の声」を聞きながらよりよい八潮してもらいたいと思います。

頑張れ、朝田議員!

